

スジグロチャバネセセリ

兵庫県：Aランク

Thymelicus leoninus leoninus

環境省：準絶滅危惧 (NT)

種の概要

前翅長14～18mm程度。翅の地色は赤橙色で、翅脈と外縁部は黒色。平地から山地の林縁の草地に生息し、幼虫はヤマカモジグサ、カモジグサを食べる。本州の暖地では年多化性で、年1化性で、成虫は7月～8月に出現する。



写真提供：刈田悟史

国内分布

北海道、本州、九州

県内分布記録

猪名川町、小野市、姫路市、神河町、宍粟市、佐用町、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
	○		○		○



特記事項

CランクからAランクに変更

県中北部を中心に旧14市町で27箇所の記録があるが、ほとんどの記録が1980年代以前のものである。県西部から中北部にかけての地域では、シカの食害による下層植生の単純化が進んだことによる影響も否定できない。

保護上の留意点